

くまもとの
農林水産業



©2010
熊本県くまモン

2022

目次

第1章 トピックス 1

- 1 令和2年7月豪雨からの復旧・復興 1
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応 3
- 3 熊本地震からの創造的復興 5

第2章 本県農林水産業の姿 6

- 1 本県の概要 6
- 2 概要 8
- 3 生産 15
- 4 農畜産物出荷カレンダー 21
- 5 担い手 23
- 6 流通 27

第3章 農林水産各計画の概要 28

第4章 農林水産部組織図 29

第1章 トピックス

1 令和2年7月豪雨からの復旧・復興

(1) 被害概要

人的被害	死者数：65名 行方不明者数：2名
家屋被害	4,610棟（全壊・半壊）※
被害額	5,222億円 （うち農林水産関係 約1,019億円）

（資料）熊本県調べ

※令和4年（2022年）3月31日時点



球磨川の氾濫状況（芦北町白石）

(2) 農林水産関係被害額（令和2年11月確定）

項目	主な被害状況	被害額
農作物関係	葉たばこの冠水、水田への土砂流入、農業用機械の損壊、農舎・畜舎等の損壊 等	約 106億円
農地・農業用施設関係	田・畑の法面崩壊、農道・水路の損壊 等	約 406億円
林業関係	山腹崩壊、林道の法面崩壊 等	約 505億円
水産関係	ヤマメ等のへい死・流出、養殖施設の損壊 等	約 3億円

（資料）熊本県調べ



農地土砂堆積・農地流出（球磨村渡）



葉たばこの冠水(相良村川辺)



山腹崩壊（芦北町牛淵）



流木等の漂着（宇城市不知火）

(3) 復旧・復興への取組み

- 「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」では、新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策や、被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興を目指し、直ちに実施する喫緊の取組みと、5年、10年先を見据えた持続可能な地域の実現に向けた将来ビジョンを示しています。
- 農林水産関連では、喫緊の取組みとして、山地災害の早期復旧と治山施設の整備、地域と連携した「田んぼダム」の推進、多様で健全な災害に強い森づくりなどを進めます。
- また、なりわい再生として、被災した農業者への営農再開支援や農地・農業用施設、林業・治山施設等の早期復旧に向けた取組み等を進めていきます。
- さらに、“緑の雇用”の創出に向けた森林資源のフル活用や、崩落土等の活用による農地の大区画化など稼げる農業の実現、球磨川と干潟再生のシンボル「アユ」「アサリ」による地域活力の再生等を掲げ、球磨川流域の農林水産業の再生と創出に全力で取り組んでいきます。

「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」
(熊本県ホームページ)



【田んぼダムの推進】

田んぼダムは、近年豪雨による洪水被害が多発する中、水田が有する貯水機能を高め、下流への流量を一時的に減少させる取組みです。

その仕組みは、水田ごとに設置してある排水口に専用のせき板を設置することにより、豪雨時に一時的に雨水を水田の中に溜めるもので、人吉球磨地域において「緑の流域治水」の一環として取り組むこととしました。

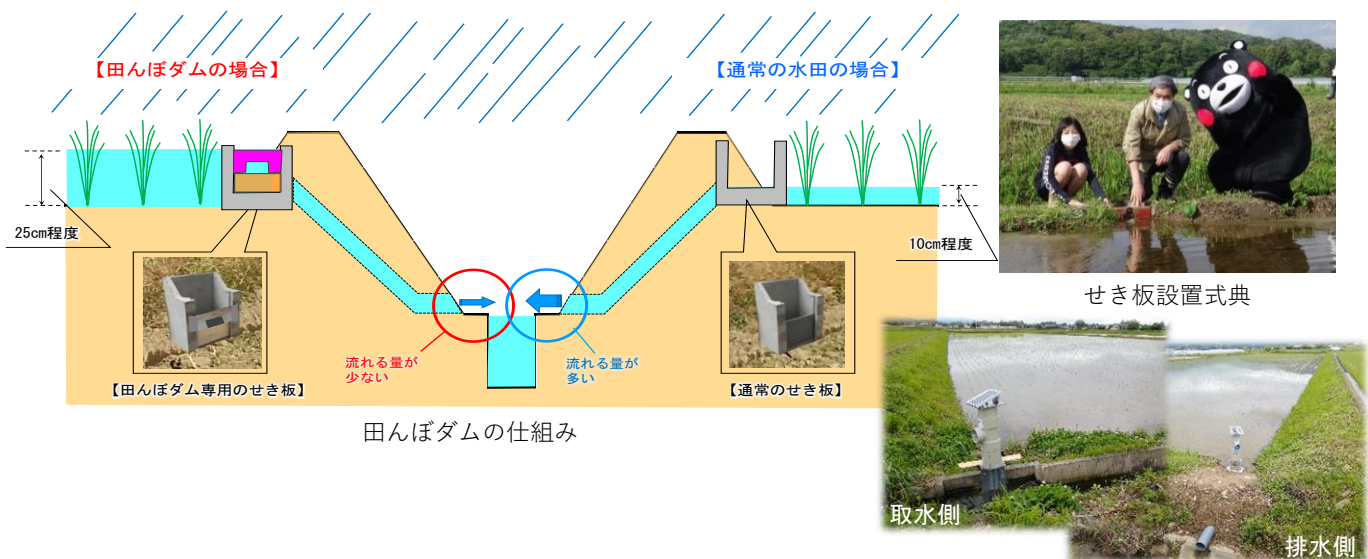
しかしながら、本県では初めての取組みであり、本格導入に当たっては、地形条件や作付状況等、地域の特性に応じた検討が必要なことから、令和3年度から2年間で実証事業として取り組んでいます。

この事業では、人吉球磨地域の7市町村においてモデル地区を設定し、約296haの水田において雨水の貯留量や流出量等の検証、さらには水稻や葉たばこ等の作物への影響等について、農家や専門家の協力を得ながら検証することとしています。

なお、取組みにあたっては、教育や福祉との連携など、あらゆる関係者との協働により推進します。

令和3年度における観測・分析の結果、一定の貯留効果やピークカット効果等があることが確認された一方、畦畔や既設排水柵の老朽化等の課題が判明しました。また、田んぼダムの実施による水稻への明確な影響は認められませんでした。

引き続き、田んぼダムの貯留効果や農作物への影響等について検証を進めます。



2 新型コロナウイルス感染症への対応

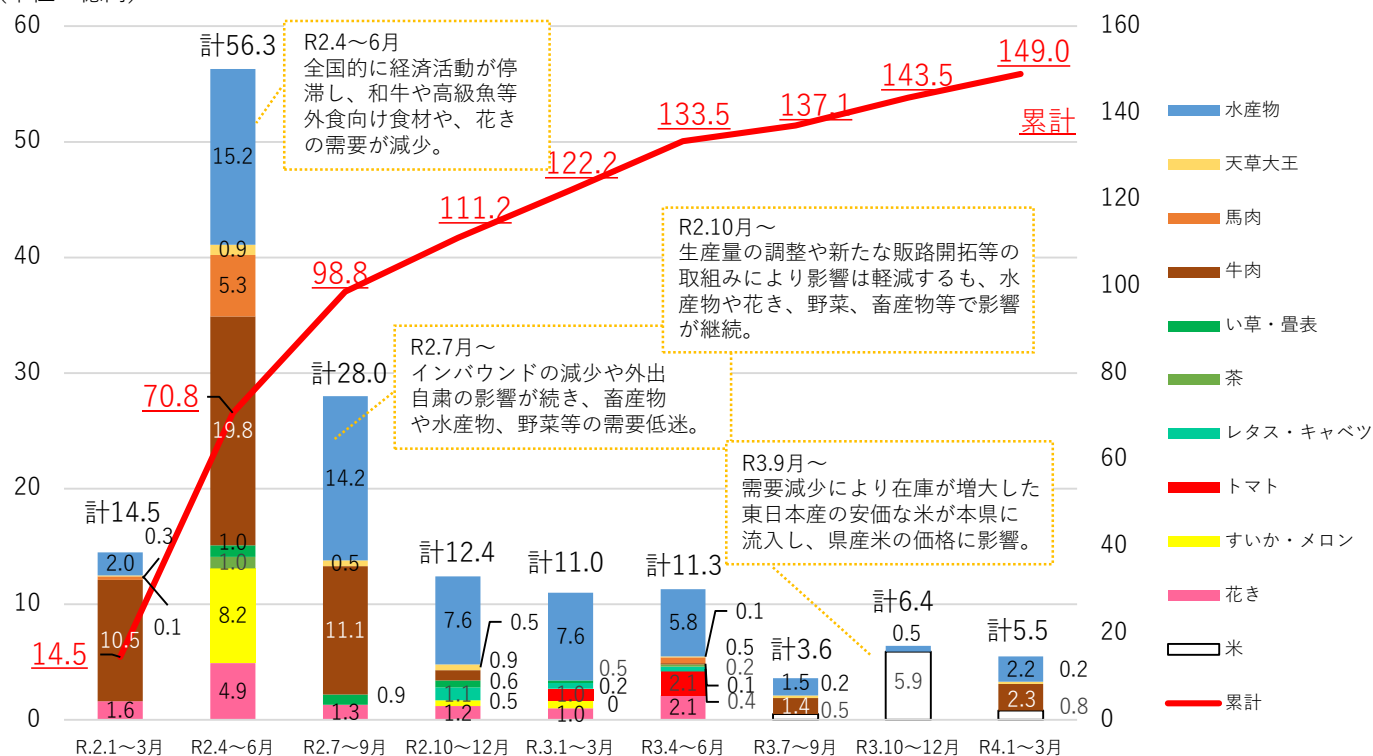
(1) 農林水産物への影響

- 新型コロナウイルス感染症は、令和2年（2020年）1月に国内において発生が確認されて以来、2年3か月余りで、国内では感染者が650万人を超え、県内でも6万4千人を超えている状況です。
- 農林水産業においては、冠婚葬祭や各種イベント等の中止・縮小による需要減退や、外食・業務用需要の減少、インバウンドの減少により畜産物、水産物、野菜、花き等幅広い品目で影響がみられました。令和2年後半以降は生産量の調整や新たな販路開拓等の取組みにより全体としては影響は軽減傾向です。
- 令和2年（2020年）1月～令和4年（2022年）3月時点で、149億円の影響が確認されています。

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う農林水産物への影響額】

(単位：億円)

基準年：令和元年
(水産物は平年比)



(資料) 県農林水産部調べ

「新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者の皆様への主な支援策一覧」
(熊本県ホームページ)



(2) 県産農林水産物の切れ目のない消費喚起

【地産地消応援フェアの開催】

新型コロナウイルス感染症に伴い需要が減少している県産農林水産物の一層の消費を促すため、令和3年9月～令和4年1月に、地産地消協力店(約800店舗)において、買い物または食事をして応募すると、県産品が当たる「くまもと地産地消応援フェア」を実施しました。



【消費喚起の取組み】

需要が減少した花き、茶、牛肉、魚介類、牛乳等をはじめとした県産農林水産物の消費喚起のため、ラジオやテレビ等を活用した広報のほか、キャンペーンの実施や、県内外でのフェアを開催しました。

また、県内外での農水産物のキャンペーンの実施や、牛肉等の学校給食への提供支援と食育授業を行いました。

◆県内外で県産米のキャンペーンやフェアを実施

県産米認知度向上のため、県内外で消費者向けのキャンペーンを実施しました。また、県外の大消費地圏での販路拡大のため、アンテナショップ銀座熊本館や熊本よかもんSHOP（大阪）で「くまさんの輝き」をPRするフェアを実施しました。



銀座熊本館での「新米フェア」

◆学校給食や子供食堂への県産牛肉・地鶏（天草大王）の食材提供を支援

インバウンド需要や外食需要が大きい牛肉、地鶏等の生産・供給体制の維持のため、教育庁（各教育委員会）や健康福祉部と連携し、小中学校等の学校給食や子供食堂への食材提供を支援しました。また、学校の食育授業を通して本県畜産業への理解醸成を推進しました。



小学校での食育授業、県産牛肉を使用した給食（右下）

◆県産木材を使用した「新しい生活様式」の空間づくりを支援

感染拡大防止対策として「新しい生活様式」の実践が必要とされる中、飲食店や事業所などにおいて、県産の木材を活用し、新しい生活様式に対応した空間づくりを行う事業者を支援しました。



ホテルにおける木製パーテーションの設置

◆県内外で県産水産物の消費拡大キャンペーンを実施

朝鮮魚販売組合連合会と連携し、令和3年11月に、県内の魚屋で県産水産物の消費拡大キャンペーンを実施しました。また、県海水養殖漁協と連携し、令和3年10月～11月及び令和4年1月～2月にかけてイオン九州（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県）で消費拡大キャンペーンを実施しました。



魚屋でのキャンペーン

3 平成28年（2016年）熊本地震からの創造的復興

(1) 被害状況

○平成28年（2016年）4月14日及び16日の二度にわたり、震度7の地震が発生し、熊本市、上益城地方及び阿蘇地方を中心に多数の家屋倒壊や土砂災害など、県内に甚大な被害をもたらしました。

人的被害*	死者数：273人（関連死を含む） 重軽傷者：2,739人
家屋被害*	19万8,255棟（全壊・半壊・一部破損）
被害額 (試算)	3兆8,189億円 (うち農林水産関係 1,826億円)

(資料) 熊本県調べ
※令和4年（2022年）4月13日時点



(出展：熊本地震デジタルアーカイブ)

熊本城被災状況（熊本市）

(2) 農林水産関係被害額（平成30年3月確定）

○農林水産業では、平成元年（1989年）以降の本県における自然災害としては、過去最大の被害となりました。

項目	主な被害状況	被害額
農作物関係	選果場など共同利用施設の損壊、いちご・なす・アスパラガス・トマト・乳用牛、花きの被害 等	約652億円
農地・農業用施設関係	田・畑の法面崩壊、ため池の堤体損傷、農地海岸施設の損壊 等	約701億円
林業関係	山地崩壊、林道の法面崩壊、木材加工施設の損壊 等	約439億円
水産関係	防波堤等の破損、荷捌き所の損傷、養殖水槽の破損 等	約34億円

(資料) 熊本県調べ

「平成28年熊本地震に関する情報」
(熊本県ホームページ)



(3) 復旧・復興の状況

- 農地や営農施設の復旧事業により営農再開を目指す農家については、令和3年（2021年）3月末に営農再開100%を達成しました。
- 大規模な地表面の亀裂やずれによる被害が発生した農地や農業用施設については、創造的復興の取組みとして、単に元の姿に戻すだけでなく、担い手への農地集積を図るため、秋津地区（熊本市・益城町）、阿蘇谷地区（阿蘇市）、乙ヶ瀬地区（南阿蘇村）で区画の拡大等の基盤整備を完了しました。
- 令和4年度から新たに、立野地区（南阿蘇村）において、担い手への農地集積、高収益作物の導入など、新たな芽吹きによる地域農業の再生を目指し、基盤整備事業に着手します。
- 地表に断層が出現（地表地震断層）した大切畑ダム（西原村）の復旧工事については、取水トンネル工、仮排水トンネル工が竣工し、現在、ダムの本体工事中です。令和7年度（2025年度）までの工事完了を目指しています。

立野地区（南阿蘇村）の取組み



農地崩壊の損壊



基盤整備事業の説明

創造的復興
(農地の集積等)



タカナ



イチゴ

新たな担い手として、納豆、豆腐の製造・販売を手掛けている県内メーカーのグループ会社（農業法人）が参画予定。
なお、地区内で生産された大豆は同メーカーへ契約販売予定。

第2章 本県農林水産業の姿

1 本県の概要

- 熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれています。また、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川、球磨川などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれています。
- 三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後となっています。
- 年間降水量は、平地で約2,500mm、山地で約3,000mmとなっています。
- このような豊かな自然の恵みを背景に、米、野菜、果樹、畜産をはじめ、多様な農作物が栽培されています。

【主要指標】

面積	7,409km ²	令和4年全国都道府県市区町村別面積調
総人口	172万8千人 (男 81万8千人 女 91万0千人)	令和3年10月1日人口推計
総世帯数	71万9千世帯	令和2年国勢調査人口等基本集計
県内総生産	6兆3,634億円 (うち農林水産業 1,877億円)	令和元年度県民経済計算報告書

【市町村】

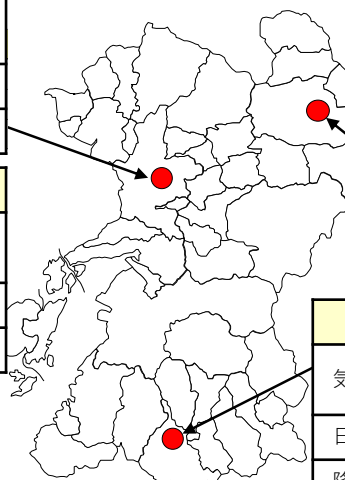
14市23町8村 (45市町村)



【気象 (R3)】

熊 本	
気温	17.9℃ 最高36.5℃ 最低-4.8℃
日照時間	2113.2時間
降水量	2347.5mm

牛 深	
気温	18.8℃ 最高36.8℃ 最低-1.3℃
日照時間	2056.5時間
降水量	2512.5mm



阿蘇乙姫	
気温	13.7℃ 最高32.6℃ 最低-10.6℃
日照時間	1813.9時間
降水量	3003.5mm

人 吉	
気温	16.4℃ 最高36.5℃ 最低-5.0℃
日照時間	1835.0時間
降水量	2706.0mm

(資料) 気象庁

くまもとの農林水産物

熊本県では、天草などの海から阿蘇などの標高の高い山間地域まで変化に富んだ地形や気候を活かしてたくさんの農林水産物が生産されています。



イラストの凡例

米	温州みかん	キャベツ	ダイコン	栗	洋ラン	あさり	しまあじ (養殖)
肉用牛	バンパイユ	レタス	レンコン	茶	クジャクアスター	たちうお	まあじ (養殖)
豚	河内晩柑	きゅうり	しょうが	いぐさ	カラー	まだい (養殖)	しんじゆ (養殖)
天草大王	なし	ごぼう	なす	量表	ストック	くるまえば (養殖)	このしろ
トマト	くり	サツマイモ	しいたけ	宿根カスミンソウ	キンギョソウ	ふぐ類 (養殖)	
ミニトマト	すいか	たまねぎ	たけのこ	トルコギキョウ	キク		
甘夏みかん	いちご	アスパラ	のり	ガーベラ			
不知火類 (デコボン)	メロン	ニンジン	乳用牛				

各地域における品目別の生産量上位5品目中から抜粋

2 概要

(1) 農業

- 農業生産の主要な担い手である認定農業者数は全国第3位、基幹的農業従事者数は全国第4位です。
- 令和2年（2020年）の農業産出額は全国第5位、生産農業所得は全国第3位です。
- 全国第1位が7品目（トマト、すいか、不知火類(デコポン)、葉たばこ、いぐさ、宿根カスミソウ、カリフラワー）があり、その他にも、なす、メロン、しょうが、なつみかん、くりなど、全国的にも上位を占める品目が数多くあります。

【全国に占めるくまもと農業の地位】

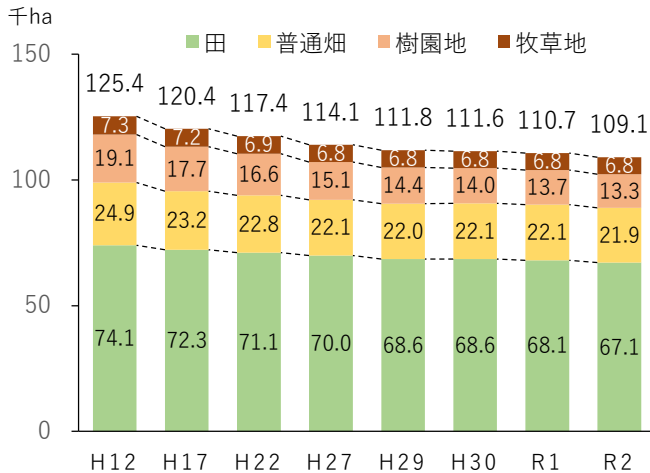
区 分		単 位	全 国	九 州	熊 本 県	熊本県の全国に占める	
						順 位	割 合 (%)
農 業 経 営 体 数 (R3年)		千 経営体	1,030.9	160.2	33.2	13	3.2
認 定 農 業 者 数 (R3.3月末)		千人	227.4	44.8	10.3	3	4.5
基 幹 的 農 業 従 事 者 数 (R3年)		千人	1,302.1	221.2	51.9	4	4.0
耕 地 面 積 (R3年)		千ha	4,349.0	515.2	107.5	13	2.5
	田 面 積 (R3年)	千ha	2,366.0	301.6	66.1	13	2.8
	畑 面 積 (R3年)	千ha	1,983.0	213.7	41.4	8	2.1
	樹 園 地 (R3年)	千ha	263.2	51.4	13.1	6	5.0
	牧 草 地 (R3年)	千ha	593.4	13.8	6.5	4	1.1
農 業 産 出 額 (R2年)		億円	89,557	17,422	3,407	5	3.8
生 産 農 業 所 得 (R2年)		億円	33,621	6,692	1,495	3	4.4
主 要 農 畜 産 物 の 収 穫 量	ト マ ト (R2年)	千 t	706.0	203.5	135.3	1	19.2
	す い か (R2年)	千 t	310.9	...	49.9	1	16.1
	不知火類(デコポン)	千 t	48.0	...	19.2	1	40.0
	葉たばこ(販売量)	千 t	13.7	6.2	2.1	1	15.3
	い ぐ さ (R2年)	千 t	6.3	6.3	6.3	1	対主産県比 99.4
	宿根カスミソウ	千本	46,600	...	17,600	1	対主産県比 37.8
	カ リ フ ラ ワ ー (R2年)	千 t	21.0	...	2.4	1	11.4
	な す (R2年)	千 t	297.0	63.0	34.2	2	11.5
	メ ロ ン (R2年)	千 t	147.9	...	24.4	2	16.5
	し ょ う が (R2年)	千 t	44.7	...	4.9	2	10.9
	な つ み か ん (R1年)	千 t	32.1	...	7.1	2	22.1
	く り (R2年)	千 t	16.9	3.7	2.4	2	14.2
	トルコギキョウ	千本	88,000	...	10,500	2	対主産県比 11.9
	いちご	千 t	159.2	...	12.2	3	7.7
	アスパラガス	千 t	26.7	...	2.2	3	8.2
	うんしゅうみかん	千 t	746.7	235.8	80.7	4	10.8
か ん し ょ (R2年)	千 t	687.6	...	17.3	6	2.5	
水 稻 (R3年)	千 t	7,563.0	752.0	156.3	16	2.1	

(資料) 農林水産省「2020年農林業センサス」、「作物統計」、「生産農業所得統計」他

※主要農畜作物の収穫量の欄の「・・・」は、主要産地県のみ調査されている作物。順位は主産地県中の順位。

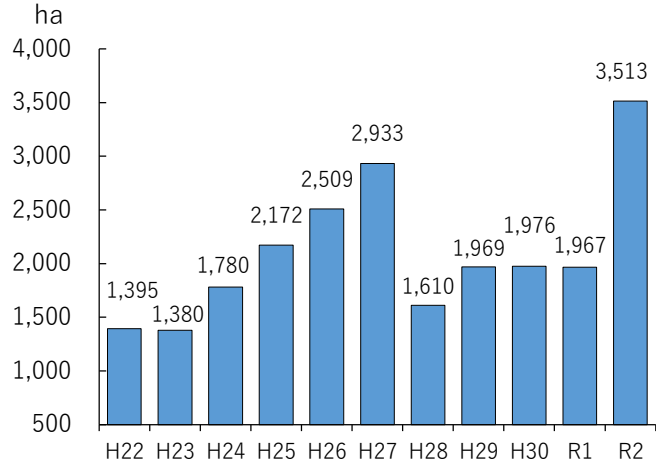
- 耕地面積は、住宅その他の建物施設用地等への転用が進んでいることなどにより、緩やかな減少傾向が続いています。
- 平成24年度（2012年度）から担い手への農地集積に向けた取組みとして、年間2,100haの農地集積を目標に取組みを開始しました。
- 地域での話合いの結果、令和2年度（2020年度）までに20,429ha（年平均2,270ha）の集積が図られました。

【耕地面積の推移】



(資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

【農地集積の状況】



(資料) 県農林水産部調べ

農地集積加速化の取組み

① 基盤整備を契機とした農地集積の推進

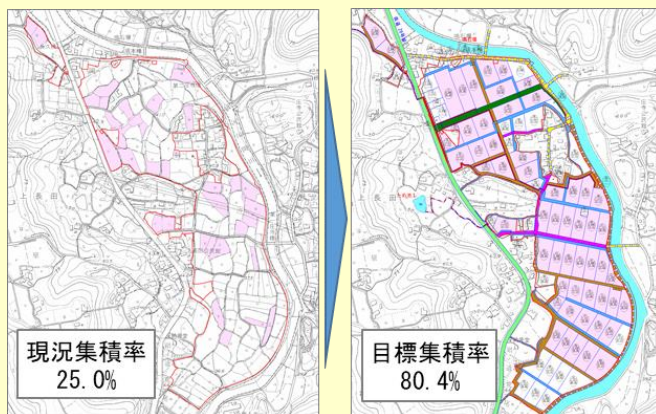
上長田地区（南関町）では、工事着手前に地区全体の約9割の農地（17ha）を一括して農地中間管理機構に貸し付け、担い手に集積。

農地中間管理機構の活用に伴い、国から交付される協力金は、水路などの維持管理費として活用予定。

< 工事概要 >

工種：区画整理 受益面積：18.1ha

事業期間：令和2～7年度（予定）



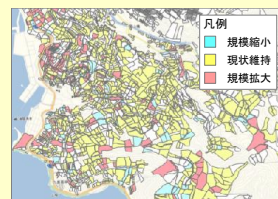
農地集積計画図

② 樹園地の集積と園地整備の一体的な実施

塩屋・葛山地区（熊本市）では、農地利用の意向調査結果を「見える化」した地図を活用し、話合いを実施。

農地集積が進みにくいとされる樹園地で担い手に7.7haの集積が図られた。

また、農地集積と併せて、園内道の整備を行い運搬作業等が効率化。



農地情報の「見える化」



話合いの状況



整備された園内道

(2) 畜産

- 令和3年（2021年）の家畜の飼養状況について、乳用牛では飼養戸数508戸、飼養頭数43,800頭、肉用牛では飼養戸数2,280戸、飼養頭数134,700頭でした。また、豚については飼養戸数156戸、飼養頭数349,500頭、採卵鶏については飼養戸数39戸、飼養羽数1,876,000羽、ブロイラーについては飼養戸数68戸、飼養羽数4,217,000羽でした。
- 乳用牛や肉用牛で飼養戸数、飼養頭数ともに全国上位に位置しています。

【全国に占めるくまもと畜産の地位】

区分	単位	全国	九州	熊本県	熊本県の全国に占める	
					順位	割合
乳用牛（戸数）	戸	13,826	1,350	508	4	3.7%
乳用牛（頭数）	千頭	1,355.8	104.0	43.8	3	3.0%
肉用牛（戸数）	戸	42,073	18,500	2,280	5	5.4%
肉用牛（頭数）	千頭	2,604.7	952.5	134.7	4	5.2%
養豚（戸数）	戸	3,847	1,250	156	8	4.1%
養豚（頭数）	千頭	9,290.1	2,892.0	349.5	10	3.8%
採卵鶏（戸数）	戸	1,955	397	39	24	2.0%
採卵鶏（羽数）	千羽	183,373	24,799	1,876	26	1.0%
肉用鶏（戸数）	戸	2,155	1,100	68	5	3.2%
肉用鶏（羽数）	千羽	138,540	69,980	4,217	6	3.0%

資料)農林水産省「畜産統計」(R3.2.1時点)

「くまもと黒毛和牛」全国トップブランドへ

令和3年3月に、県統一黒毛和牛銘柄である「くまもと黒毛和牛」を発表し、オール熊本で認知度向上や販路拡大に向けた取組を実施しています。

令和4年度からは、新たに、国内最大の食肉流通拠点である東京都中央卸売市場等の首都圏市場へ生体出荷を開始し、更なる全国的な認知度向上と販路拡大に取り組んでいます。



首都圏出荷出発式



東京都で開催したお披露目会

(3) 林業

- 令和2年(2020年)の林業産出額は1,348千万円で全国9位となっており、このうち木材産出額は1,142千万円で全国4位となっています。
- 令和2年(2020年)の素材生産量は964千m³で全国6位となっているほか、乾しいたけ生産量は177トンで全国3位となっています。

【全国に占める熊本林業の地位】

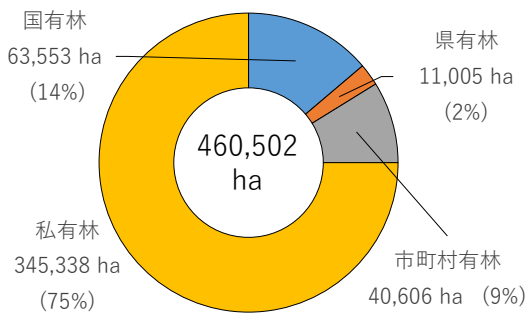
項 目	単 位	全 国	九州・沖縄	熊 本	全国に おける 順 位	九州に おける 順 位	調査年月日
森林資源 (※1)							
林野率	%	67	62	62	32	4	平成29年3月31日
林野面積	千ha	25,048	2,771	463	18	3	
民有林林野面積	千ha	17,341	2,225	398	18	4	〃
人工林面積	千ha	10,204	1,456	280	10	2	〃
人工林率	%	41	53	61	9	3	〃
林業生産 (※2)							
林業産出額	千万円	42,864	8,517	1,348	9	4	令和2年次
うち木材産出額	千万円	19,437	5,119	1,142	4	2	〃
造林 (※3)							
民有林造林面積	ha	22,788	5,261	979	5	3	令和元年度
スギ造林面積	ha	7,189	4,288	644	3	3	〃
ヒノキ造林面積	ha	1,821	205	86	7	1	〃
伐採 (※4)							
素材生産量	千m ³	19,882	4,827	964	6	3	令和2年次
スギ素材生産量	千m ³	11,682	3,893	687	5	3	〃
ヒノキ素材生産量	千m ³	2,703	692	233	1	1	〃
特用林産物 (※5)							
乾しいたけ生産量	トン	2,302	1,643	177	3	3	令和2年次
生しいたけ生産量	トン	70,280	10,109	641	30	6	〃
たけのこ生産量	トン	26,449	17,833	2,921	3	3	〃
木炭生産量	トン	13,396	1,409	X	X	X	〃
竹材生産量	千束	1,030	913	240	2	2	〃
林道 (※6)							
民有林林道総延長距離	km	89,304	13,867	2,055	16	3	令和2年3月31日
民有林林道密度	m/ha	5.1	6.2	5.2	25	6	〃
高性能機械導入数 (※7)	台数	10,855	2,514	458	4	2	令和2年度
木材産業 (※4)							
製材工場数	工場	4,115	673	129	10	2	令和2年次
出力数	kw	600,244	121,371	15,067	13	3	〃
1工場平均出力数	〃	146	180	117	-	-	〃
製材品出荷量	千m ³	8,167	2,146	331	8	3	〃
森林組合 (※8)							
森林組合数	組合	613	80	15	14	1	令和2年3月31日
組合員数	人	1,495,048	288,362	36,416	17	4	〃
1組合平均組合員数	人	2,439	3,605	2,428	27	6	〃
林業経営 (※9)							
林業経営体数	戸	33,995	6,058	1,255	7	3	令和2年2月1日

- (資料) ※1 都道府県別森林率・人工林率(林野庁HP)
 ※2 農林水産省「令和2年 林業産出額」
 ※3 林野庁「森林・林業統計要覧2021」
 ※4 農林水産統計「令和2年木材統計」
 ※5 特用林産基礎調査(令和2年)ただし、個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表していない
 ※6 民有林森林整備施策のあらまし(令和3年度版)
 ※7 林野庁林業機械保有状況調査(令和2年度版)
 高性能機械導入台数は、フェラーバンチャー、ハーベスタ、プロセッサ、スキッダ、フォワーダ、タフヤーダ、スイングヤーダの7種類の合計
 ※8 農林水産統計「令和元年度森林組合一斉調査結果」
 ※9 農林水産省統計部「2020年世界農林業センサス」

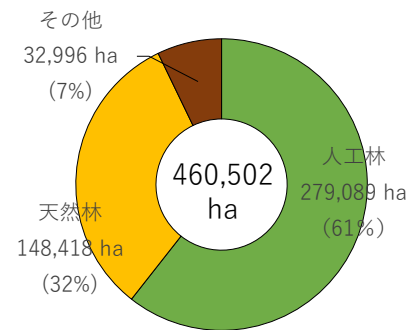
- 令和3年（2021年）4月現在の熊本県森林面積は、460,502haであり、県土全体の約6割を占めています。
- 所有形態別の構成比は、国有林14%、公有林（県＋市町村）11%、私有林75%となっています。
- 林種区分別の構成比は、人工林61%、天然林32%、その他7%となっています。
- 保安林面積は、国有林62,190ha(35%)、民有林116,790ha(65%)となっています。機能別では、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林が全体の94%を占めています。
- 令和3年（2021年）4月現在で、スギ、ヒノキ人工林のうち、主伐が可能な森林面積（スギ41年生以上、ヒノキ46年生以上）は188,968haとなっており、全体の83%を占めています。

【森林面積】

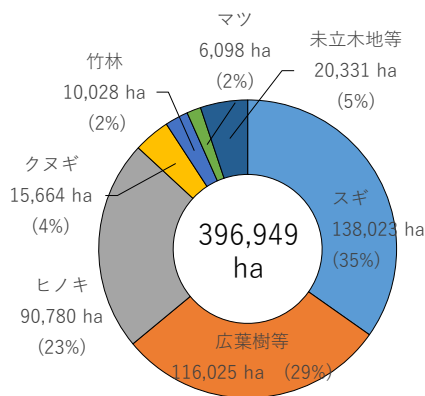
(1) 所有形態別森林面積



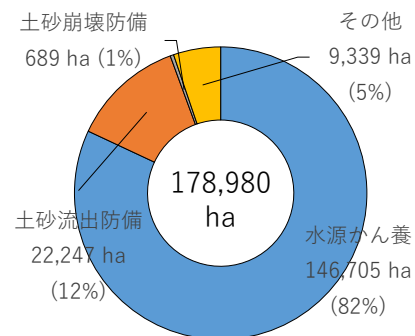
(2) 人工林・天然林の割合



(3) 民有林の樹種別面積

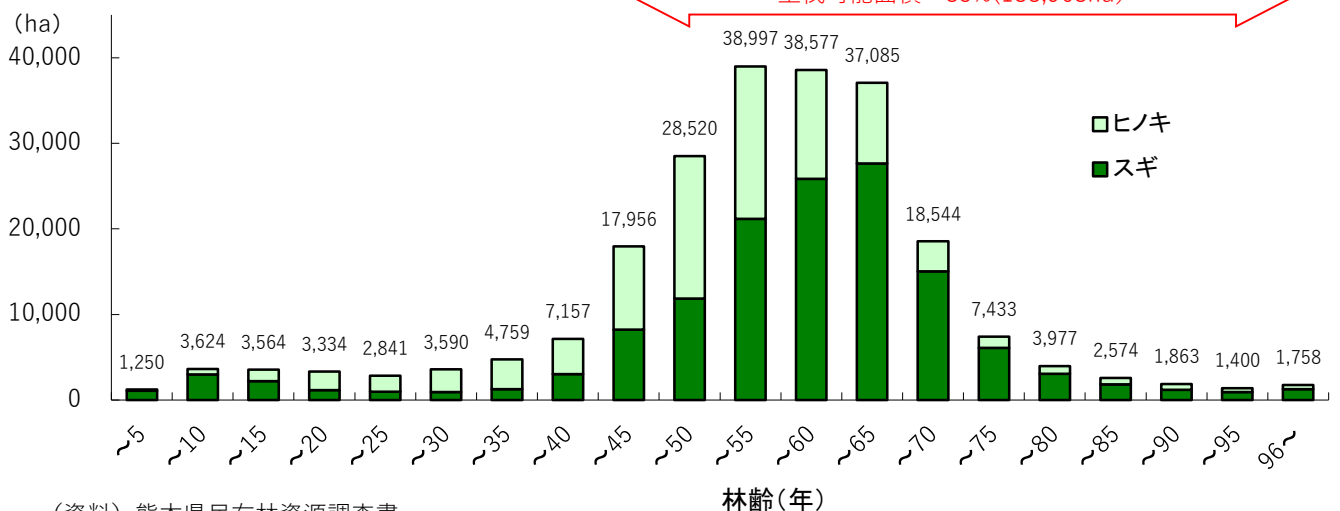


(4) 保安林の面積（兼種含む）



（うち国有林62,190ha、民有林116,790ha）

(5) 民有林の林齢構成（面積）



（資料）熊本県民有林資源調査書

(4) 水産業

- 令和2年（2020年）の海面養殖業の生産量は、52,990トンで全国8位。海面養殖業の産出額は、28,701百万円で全国第4位と本県は養殖業が盛んな県です。
- 海面養殖業の生産量では、全国2位のしまあじ、ふぐ類、まだい、くるまえび、全国4位ののり類、まあじ、真珠など、全国的にも上位を占める品目が数多くあります。
- また、海面漁業の生産量では、全国3位のこのしろ、全国5位のくるまえびなどの全国上位の品目もあります。

【全国に占める熊本水産業の地位】

項 目		単位	全国	九州	熊本	熊本県の全国に占める		
						順位	割合(%)	
漁業経営体数	(30年)	経営体数	79,142	18,796	2,829	9	3.6	
漁業就業者数	(30年)	人	151,701	36,972	5,392	9	3.6	
漁船隻数	(30年)	隻	132,560	33,780	4,800	11	3.6	
海面漁業産出額	(02年)	百万円	773,483	314,538	4,741	30	0.6	
海面養殖業産出額	(02年)	百万円	436,847	197,858	28,701	4	6.6	
海面漁業漁獲量	(02年)	t	3,213,241	485,265	13,080	29	0.4	
海面養殖業収穫量	(02年)	t	970,081	314,538	52,990	8	5.5	
内水面漁業漁獲量	(02年)	t	21,745	247	35	25	0.2	
内水面養殖業収穫量	(02年)	t	29,087	11,117	339	13	1.2	
養殖 主 な 収 穫 量	しまあじ	(02年)	t	4,042	1,399	697	2	17.2
	ふぐ類	(02年)	t	3,393	2,660	501	2	14.8
	まだい	(02年)	t	65,973	14,069	8,835	2	13.4
	くるまえび	(02年)	t	1,369	1,052	269	2	19.6
	のり類	(02年)	t	289,396	160,247	35,929	4	12.4
	まあじ	(02年)	t	595	145	41	4	6.9
	真珠	(02年)	kg	15,776	6,661	491	4	3.1
漁業 主 な 漁 獲 量	このしろ	(02年)	t	4,160	1,163	657	3	15.8
	くるまえび	(02年)	t	245	80	15	5	6.1
	その他海藻	(02年)	t	18,254	4,214	502	10	2.8
	あさり類	(02年)	t	4,305	350	28	8	0.7
	まだい	(02年)	t	15,013	5,605	467	10	3.1

(資料) 農林水産省「漁業センサス」、「農林水産統計年報」

あさりの産地偽装への対応

あさりの産地偽造問題に対し、熊本県では、「産地偽装あさりの一掃」、「徹底的な調査・取締り」、「純粋な県産あさりの流通戦略」の3原則に基づき、関係者一丸となって取り組んでいます。

○「熊本県産あさり緊急出荷停止宣言」

令和4年2月1日、「熊本県産あさり緊急出荷停止宣言」を行い、全国の店頭から偽装あさがりが一掃されました。

○「産地偽装110番」の開設

「産地偽装110番」を開設し、寄せられた情報に対して、調査・指導を行っています。

○「熊本県産あさりブランド再生協議会」の設置

純粋な県産あさを適正に流通・販売するための「熊本モデル」の構築に向け、取組みを進めています。

R4年6月「熊本県産あさりを守り育てる条例」を公布

ポイントⅠ 漁場の保全・改善

『あさり資源特別回復区域』を指定(13条)
[蓄養が行われている漁場]

『あさり資源育成促進区域』を指定(14条)
[県産あさり資源に注力する漁場]

十 県産あさりの育成

- 漁場環境保全策および資源回復・育成案への支援(11条、12条)
- 稚貝保護のため被覆網等のソフト事業
- 覆砂実施等の公共事業
- 県水産研究センター、広域本部水産課からの技術指導等(15条)

ポイントⅡ 適正な流通・販売

『熊本県産あさり販売協力店』の認証(16条)

- 生産情報の発信(17条)



(産地証明書)

ポイントⅢ 書面の備付け等

『入出荷記録等の備付けと保存』(18条、19条)

- 保存期間は3年間
 - 入荷及び出荷伝票等
 - 養殖記録等
 - 勧告⇒公表、通報(20条、22条)
- 『熊本県産』等と表示したあさがりが対象

くまもとの豊かな漁場

熊本県は、有明海、八代海、天草灘の三海域からなる豊かな漁場を有し、それぞれに特色ある漁業(採貝漁業、漁船漁業、養殖業など)が営まれています!

- 🐞 有明海:潮の干満差が大きく、日本最大の干潟を有しています。
- 🐞 八代海(不知火海):湾北部は干潟域が広がり、内湾性の特徴が強く、湾中部以南は、徐々に外洋性の特徴を有しています。
- 🐞 天草灘:多くの曾根や瀬が点在し、瀬付きの底魚や回遊魚等の好漁場となっています。



有明海・御興来海岸(宇土市網田)



八代海で操業する打瀬船(葦北郡芦北町)

3 生産

(1) 農業

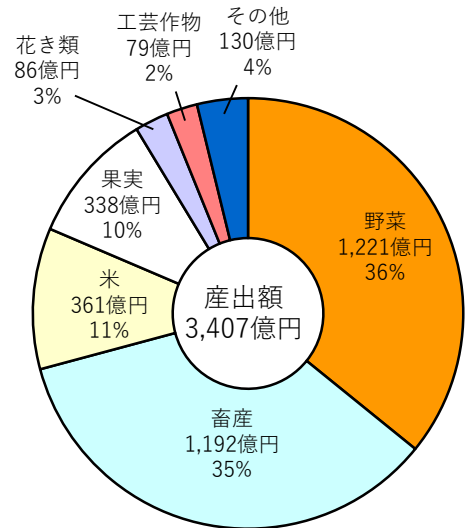
- 令和2年（2020年）の農業産出額は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により肉用牛や工芸作物、花きにおいて需要減退したことから価格が低下した一方で、豚や鶏の価格の上昇や、果実の生産量が増加したことから、3,407億円とわずかに増加（前年比101.3%）し、全国5位（前年：全国6位）となっています。
- 主な内訳は、野菜1,221億円（構成比36%）、畜産1,192億円（35%）、米361億円（11%）、果実338億円（10%）、花き86億円（3%）、工芸農作物79億円（2%）等となっています。
- 令和2年（2020年）の生産農業所得は1,495億円で、前年より3.7%増加し、全国3位（前年4位）、九州1位（前年2位）となりました。

【農業産出額の全国順位推移】

順位	H30		R元		R2		前年比
	単位	億円	単位	億円	単位	億円	
1	北海道	12,593	北海道	12,558	北海道	12,667	100.9%
2	鹿児島	4,863	鹿児島	4,890	鹿児島	4,772	97.6%
3	茨城	4,508	茨城	4,302	茨城	4,411	102.5%
4	千葉	4,259	千葉	3,859	千葉	3,852	99.8%
5	宮崎	3,429	宮崎	3,396	熊本	3,407	101.3%
6	熊本	3,406	熊本	3,364	宮崎	3,348	98.6%
7	青森	3,222	青森	3,138	青森	3,262	104.0%
8	愛知	3,115	愛知	2,949	愛知	2,893	98.1%
9	栃木	2,871	栃木	2,859	栃木	2,849	99.7%
10	岩手	2,727	岩手	2,676	岩手	2,741	102.4%
合計	全国	90,558	全国	88,938	全国	89,521	100.7%

（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【農業産出額に占める品目別割合（R2）】



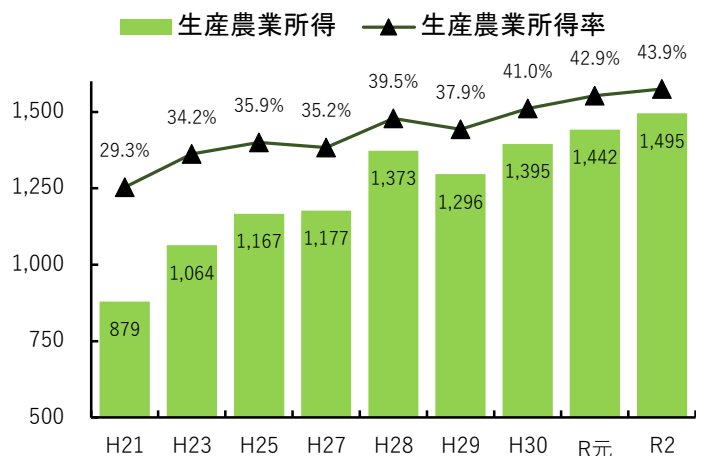
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【生産農業所得の全国順位推移】

順位	H30		R元		R2		前年比
	単位	億円	単位	億円	単位	億円	
1	北海道	5,060	北海道	5,368	北海道	4,985	92.9%
2	茨城	1,685	鹿児島	1,481	茨城	1,603	109.0%
3	千葉	1,486	茨城	1,470	熊本	1,495	103.7%
4	鹿児島	1,424	熊本	1,442	鹿児島	1,415	95.5%
5	熊本	1,395	千葉	1,233	千葉	1,292	104.8%
6	青森	1,307	青森	1,162	青森	1,211	104.2%
7	愛知	1,085	宮崎	1,142	宮崎	1,112	97.4%
8	山形	1,080	山形	1,061	愛知	1,112	110.8%
9	宮崎	1,079	栃木	1,055	栃木	1,108	105.0%
10	長野	1,065	愛知	1,004	長野	1,064	108.9%
合計	全国	34,873	全国	33,215	全国	33,604	101.2%

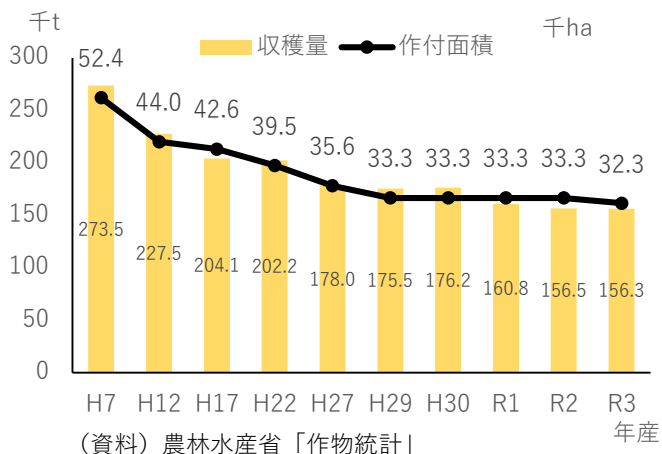
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【生産農業所得の推移】

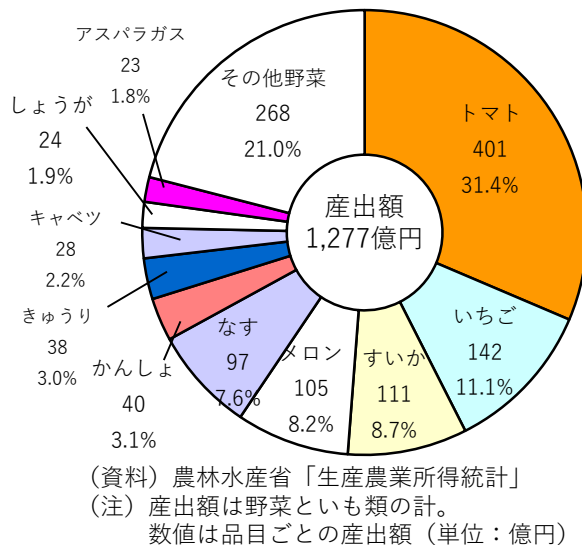


（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

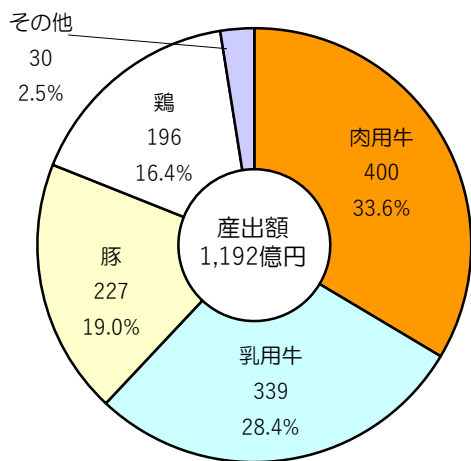
【米の生産状況（R3）】



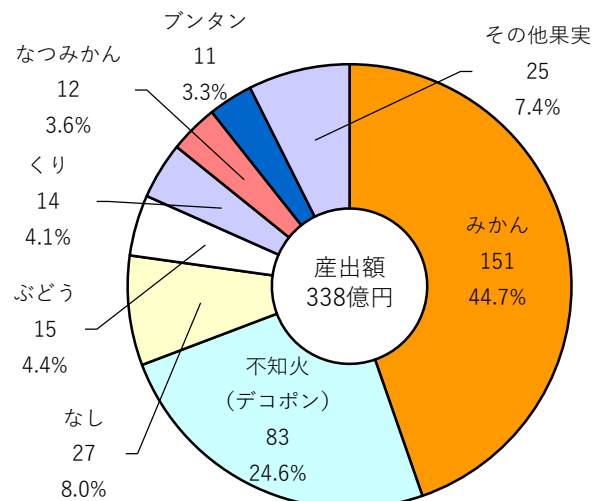
【野菜の生産状況（R2）】



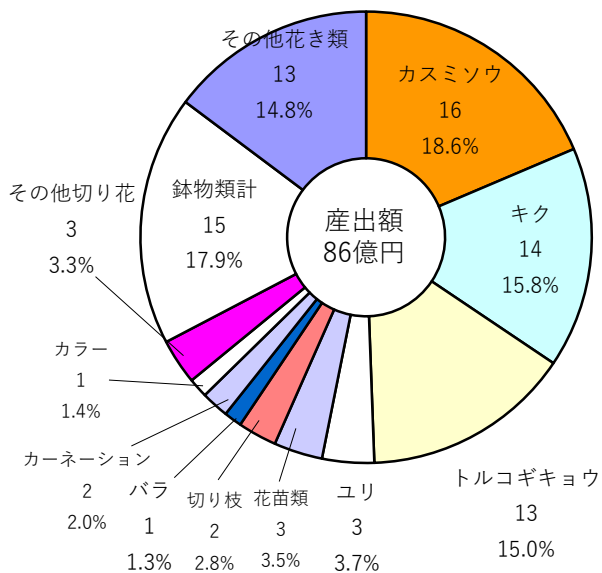
【畜産の生産状況（R2）】



【果樹の生産状況（R2）】



【花きの生産状況（R2）】

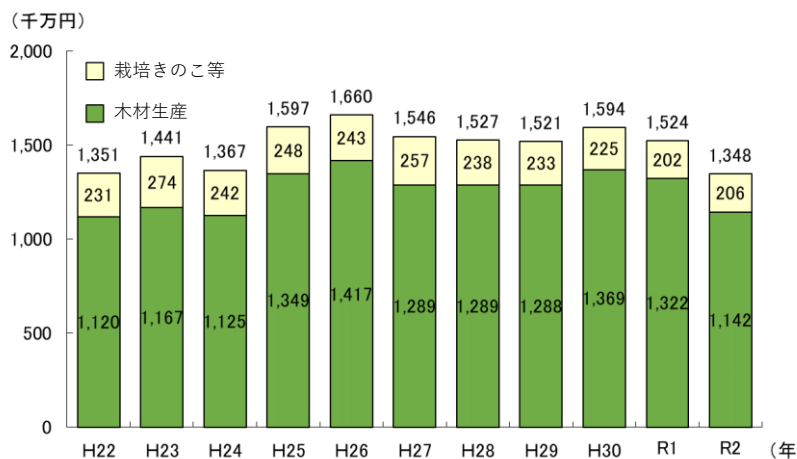


(2) 林業

- 令和2年（2020年）林業産出額は1,348千万円で、前年（1,524千万円）に比べて18億円減少し、全国第9位となっています。
- 内訳は、木材生産（スギ、ヒノキ、広葉樹、竹材）が1,142千万円（構成比85%）、木材以外の栽培きのご類生産等（きのご類、薪炭、林野副産物）が206千万円（構成比15%）となっています。

① 林業産出額

【林業産出額の推移】



【林業産出額順位 (R2)】

単位: 千万円

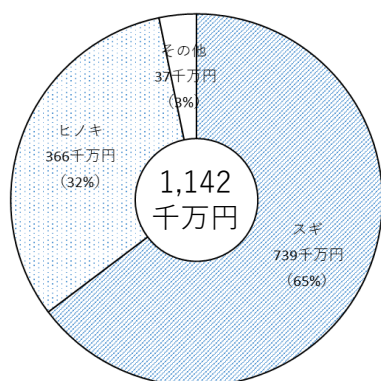
順位	都道府県	林業産出額	全国シェア
1	長野	5,982	14%
2	新潟	4,810	11%
3	北海道	3,877	9%
4	宮崎	2,550	6%
5	岩手	1,782	4%
6	大分	1,604	4%
7	福岡	1,457	3%
8	秋田	1,415	3%
9	熊本	1,348	3%
10	静岡	1,157	3%
合計	全国	42,864	0%

(資料) 農林水産統計「令和2年 林業産出額」

② 木材生産額

- 令和2年（2020年）林業産出額の木材生産部門については、1,142千万円で全国第4位です。
- 主な内訳は、スギが739千万円（構成比65%、全国シェア7%）で全国第4位、ヒノキが366千万円（構成比32%、全国シェア10%）で全国第1位となっています。

【林業産出額に占める割合 (木材生産) (R2)】



【木材産出額順位表 (R2)】

単位: 千万円

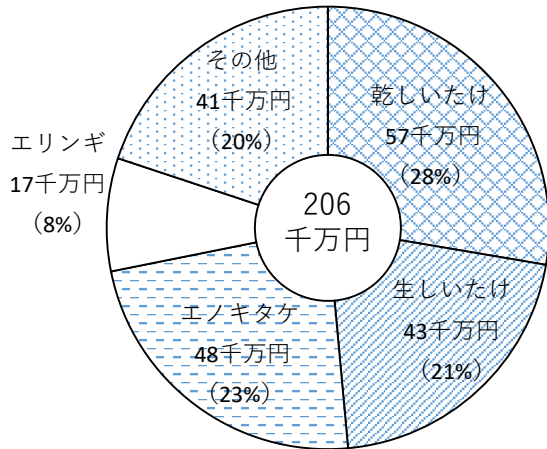
順位	都道府県	木材産出額	シェア	順位	都道府県	スギ産出額	シェア	順位	都道府県	ヒノキ産出額	シェア
1	北海道	2,793	14%	1	宮崎	1,814	17%	1	熊本	366	10%
2	宮崎	1,977	10%	2	秋田	871	8%	2	岡山	363	10%
3	岩手	1,307	7%	3	大分	833	8%	3	愛媛	287	8%
4	熊本	1,142	6%	4	熊本	739	7%	4	高知	250	7%
5	大分	1,038	5%	5	岩手	551	5%	5	大分	186	5%
6	秋田	1,002	5%	6	青森	540	5%	6	栃木	185	5%
7	青森	744	4%	7	福島	478	4%	7	三重	182	5%
8	福島	688	4%	8	鹿児島	405	4%	8	岐阜	179	5%
9	栃木	587	3%	9	宮城	375	3%	9	静岡	165	5%
10	愛媛	550	3%	10	栃木	363	3%	10	宮崎	131	4%
合計	全国	19,437		合計	全国	10,739		合計	全国	3,506	

(資料) 農林水産統計「令和2年 林業産出額」

③ 栽培きのご類等部門

- 令和元年（2019年）林業産出額のうち、栽培きのご類等部門については、206千万円で全国第23位となっています。
- 主な内訳は、乾しいたけが57千万円（構成比28%）で全国第3位、生しいたけが44千万円（構成比21%）で全国第32位となっています。

【林業産出額に占める割合
（栽培きのご類等）（R2）】



【林業産出額順位表（栽培きのご類等生産）（R2）】

単位：千万円				単位：千万円			単位：千万円				
順位	都道府県	栽培きのご類等	全国シェア	順位	都道府県	生しいたけ	全国シェア	順位	都道府県	乾しいたけ	全国シェア
1	長野	5,456	24%	1	徳島	745	12%	1	大分	330	43%
2	新潟	4,694	21%	2	栃木	375	6%	2	宮崎	126	16%
3	福岡	1,257	6%	3	秋田	361	6%	3	熊本	57	7%
4	北海道	969	4%	4	北海道	348	6%	4	愛媛	39	5%
5	静岡	845	4%	5	岩手	344	6%	5	静岡	38	5%
6	徳島	748	3%	6	長野	299	5%	6	岩手	32	4%
7	大分	549	2%	7	群馬	294	5%	7	鹿児島	19	2%
8	宮崎	547	2%	8	宮崎	271	5%	8	長崎	17	2%
9	長崎	530	2%	9	長崎	259	4%	9	栃木	8	1%
10	香川	452	2%	10	福島	226	4%	10	富山	7	1%
23	熊本	187	1%	32	熊本	43	1%				
合計	全国	22,596		合計	全国	5,965		合計	全国	770	

（資料）農林水産統計「令和2年 林業産出額」

企業等の森づくりによる二酸化炭素吸収への取組み

熊本県では、持続可能な未来を実現していくため「2050年熊本県内CO2排出実質ゼロ」を宣言しました。そこで、企業等が森林所有者との間で、熊本県内の森林整備に関する協定を締結するよう支援し、森林の持つ二酸化炭素吸収等の公益的機能に対し理解を深めていただきながら、多様で豊かな森づくりの取組みを推進していきます。



企業・法人等による森づくり活動

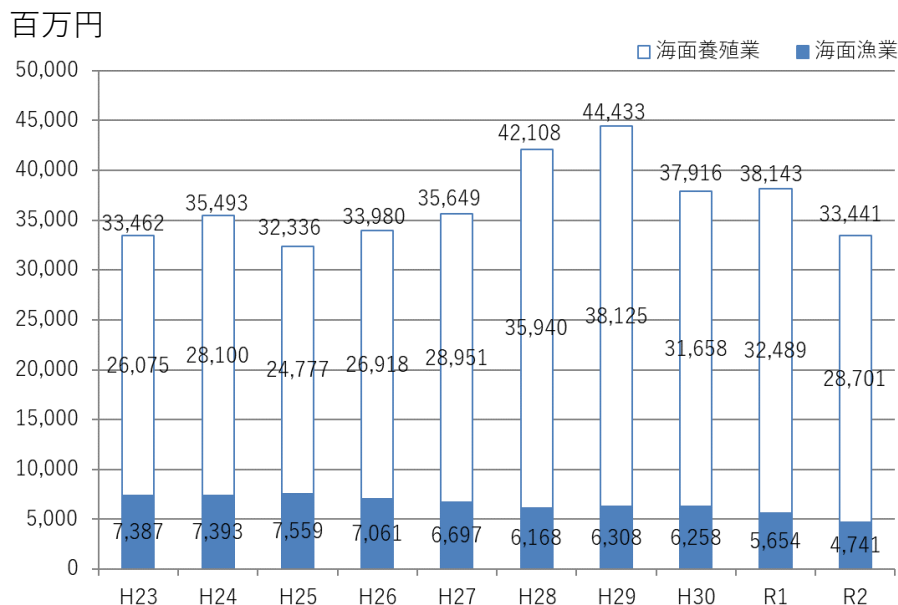


協働の森づくり協定締結式

(3) 水産業

- 本県の令和2年（2020年）海面漁業及び海面養殖業の産出額は、33,441百万円で前年の38,143百万円に比べ4,702百万円減少し、全国第11位となっています。
- その内訳として、海面漁業産出額は、4,741百万円で前年の5,654百万円に比べ913百万円減少し、全国第30位となっています。
- 海面養殖業産出額は、28,701百万円で、前年の32,489百万円に比べ3,788百万円減少し、全国第4位となっています。

【海面漁業及び海面養殖業の産出額の推移】



マダイ

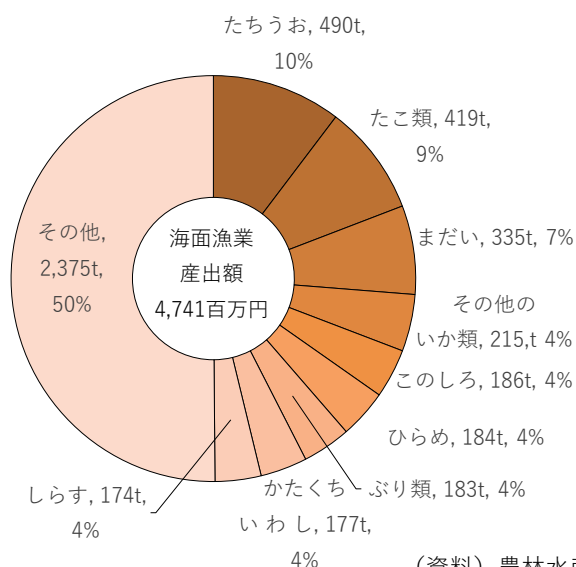


ノリ養殖

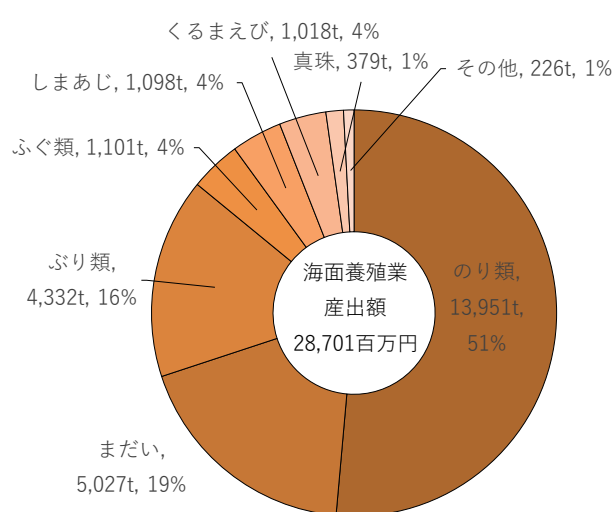
(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 令和2年（2020年）の海面漁業産出額は、4,741百万円で、その主な内訳は、たちうお490百万円（構成比10%）、たこ類419百万円（構成比9%）となっています。
- 令和2年（2020年）の海面養殖業産出額は、28,701百万円で、その主な内訳は、のり類13,951百万円（構成比51%）、まだい5,027百万円（構成比19%）、ぶり類4,332百万円（構成比16%）となっています。

【海面漁業産出額の魚種別構成比（R2）】



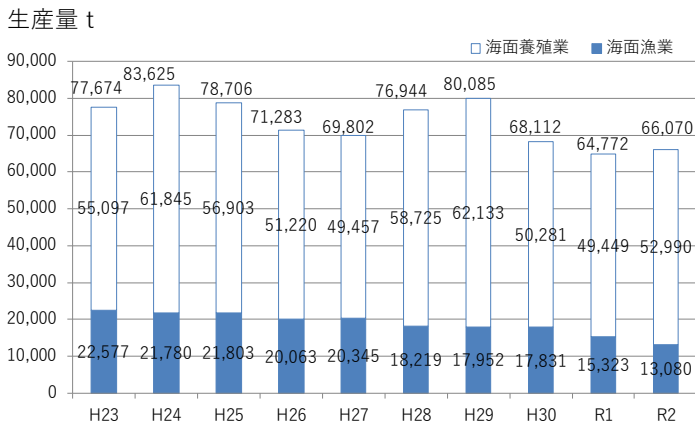
【海面養殖業産出額の魚種別構成比（R2）】



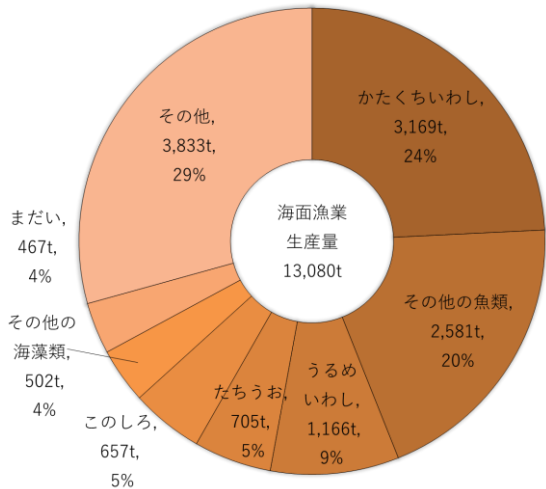
(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 令和2年（2020年）の海面漁業及び海面養殖業の生産量は66,070トンで、前年の64,772トンに比べ1,298トン増加（対前年比102.0%）。全国第21位となっています。
- その内訳は、海面漁業生産量は13,080トンで、前年の15,323トンに比べ2,243トン減少し、全国第29位。海面養殖業収穫量は52,990トンで、前年の49,449トンに比べ3,541トン増加し、全国第8位です。
- 海面漁業の主な魚種の漁獲量について魚種別に見ると、かたくちいわしが全体の24%を占めており、次にその他の魚類、うるめいわしの順になります。海面養殖の主な魚種の収穫量について魚種別に見てみると、のり類が全体の68%を占めており、まだい、ぶりの順になります。

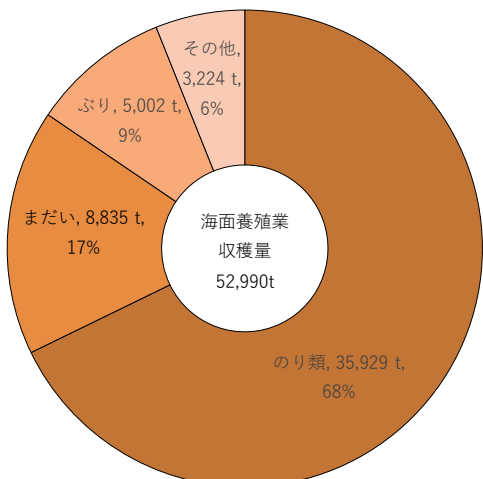
【海面漁業及び海面養殖業の生産量の推移】



【海面漁業生産量の魚種別構成比（R2）】



【海面養殖業収穫量の魚種別構成比（R2）】



（資料）農林水産省「農林水産統計年報」

安心安全な くまもとの養殖魚

熊本県では、養殖業者の認証制度を導入しています。21項目に及ぶ審査基準をクリアした養殖業者を認証することで養殖魚の安全を確保し、消費者の皆様の安心につなげることを目指しています。

対象魚種 マダイ、トラフグ
ブリ、シマアジ等



認証マーク（安全・安心の証です）



養殖現場の様子(上)/養殖されたぶり(下)

4 農畜産物出荷カレンダー

			出荷最盛期 ■ 出荷時期 ■											
種類	品名	主な生産地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
野菜類	ずいか	熊本・鹿本・上益城・菊池												
	メロン													
	アールスメロン	鹿本・宇城・熊本・八代												
	アンデスメロン	宇城・球磨・菊池・熊本												
	クインシーメロン	宇城・八代・熊本												
	肥後グリーンメロン	八代・宇城												
	トマト	八代・玉名・宇城・熊本 阿蘇・上益城												
	いちご	玉名・八代・球磨・宇城・阿蘇												
	なす	熊本・宇城・玉名 球磨・鹿本・玉名												
	れんこん	宇城・熊本・八代												
	さといも	菊池・球磨・阿蘇・上益城												
	ピーマン	上益城・阿蘇												
	ごぼう	菊池・阿蘇												
	さやいんげん	天草・球磨・上益城												
	キャベツ	八代・熊本 阿蘇・上益城												
	にんじん	菊池・鹿本												
	だいこん	菊池 阿蘇												
	レタス	天草・八代												
	きゅうり	宇城・熊本 球磨・阿蘇・熊本・菊池・上益城												
	ほうれんそう	阿蘇												
たまねぎ	熊本・芦北・天草													
しょうが	宇城・八代													
かんしょ	菊池・上益城・阿蘇													
果実類	かんきつ類													
	温州みかん	玉名・熊本・宇城												
	不知火(デコボン)	宇城・芦北・天草												
	甘夏	芦北・宇城・天草												
	ボンカン	天草・宇城												
	清見	天草・宇城・芦北												
	河内晩柑(ジュシーオレンジ)	天草												
	ネーブル	宇城												
	大橘(パール柑)	宇城・天草												
	晩白柚	八代												
	ハウスミカン	鹿本・玉名												
	なし													
	幸水	球磨・八代・玉名・熊本												
	豊水	球磨・玉名・熊本・八代												
	新高	玉名・八代												
	くり													
筑波・銀寄・など	鹿本・球磨・上益城・菊池・玉名													
ぶどう														
巨峰	宇城・鹿本・菊池													
桃	球磨・玉名・熊本・鹿本・宇城													
かき	宇城・上益城・菊池・鹿本													
びわ	天草													
ブルーベリー	上益城													
花き類	キク	鹿本・上益城・熊本・球磨												
	宿根カスミンソウ	菊池・天草・宇城												
	トルコギキョウ	阿蘇・菊池・八代・熊本・球磨・天草												
	バラ	熊本・阿蘇・玉名												
	カーネーション	熊本・阿蘇・上益城												
	カラー	熊本・八代												
	スターチス類	天草・菊池・八代・阿蘇												
特産	畳表(いぐさ)	八代・宇城・球磨												
	茶	球磨・菊池・上益城・八代・鹿本・芦北												
畜産	牛乳・牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵	県下全域												

くまもとの魅力を発信できる品種の開発・選定

米

「くまさんの輝き」



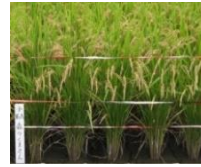
- ◆ツヤ・粘りがある極良食味品種。高温登熟性に優れ、倒伏しにくい。
- ◆R1年度 品種登録

はな にしき 「華 錦」



- ◆酒造好適米品種。倒れにくく、大粒で充実良好。吟醸酒～純米酒の製造に期待。
- ◆H28年度 品種登録

「森のくまさん」



- ◆県育成第1号。食味ランキングで最高得点で1位（平成24年）。粘りがあり、良食味。
- ◆H12年度 品種登録

いぐさ

「くまさんの力」



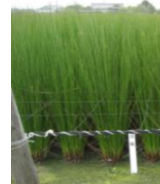
- ◆高温条件下でも白未熟粒が発生しにくく、良食味。倒伏にも強い。
- ◆H22年度 品種登録

「ひのみどり」



- ◆茎が非常に細く、太さや色の揃いが良い。高品質で感触がよく、非常に美しい畳表となる。
- ◆H13年度 品種登録

すず かせ 「涼 風」



- ◆枯死株が少なく、収量が多いため、畳表の生産性も高い。早刈栽培向け。
- ◆H26年度 品種登録

野菜

「ゆうべに」



- ◆年内収量が多く、大玉で鮮やかな赤色が特徴。
- ◆H28年度 品種登録

「ひのしずく」



- ◆大玉で甘く、香りが芳醇。低コスト栽培が可能。
- ◆H17年度 品種登録

「ヒゴムラサキ2号」



- ◆「ヒゴムラサキ」の着色性を改善し、舌出し果の発生を軽減。
- ◆H29年度 品種登録

果樹

「熊本EC12」



- ◆12月に成熟し、高品質で食味が良く、栽培しやすい中晩柑。
- ◆R1年度 品種登録

「熊本EC11」



- ◆年内に成熟し、12月に出荷できる温州みかん。糖度も高く食味が良好。浮き皮が少ない。
- ◆H27年度 品種登録

花き

「ホワイトトーチ」



- ◆疫病汚染圃場で良好に生育する湿地性カラー。仏炎苞は純白で、茎は細く、品質が優れる。
- ◆H24年度 品種登録

「ホワイトスワン」



畜産

だいにみつはる 「第2光晴」



- ◆枝肉重量の検定成績が歴代3位、ロース芯面積、BMS No.も歴代2位と肉量、肉質とも優れている褐毛和種種雄牛。
- ◆R3年度 選抜

しげぞう 「茂三」



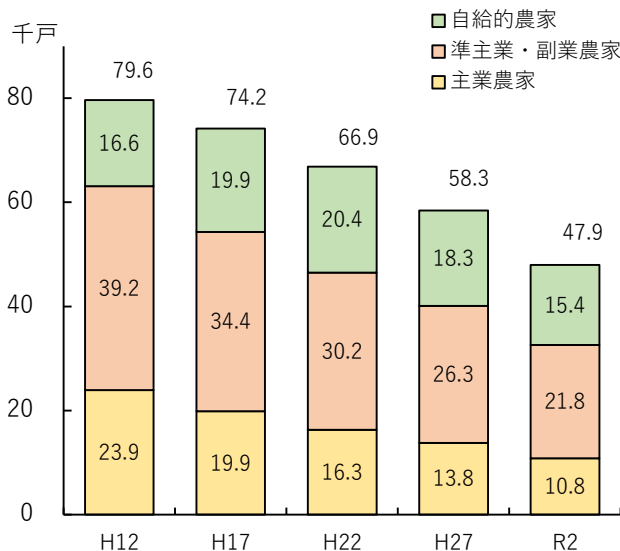
- ◆検定成績は枝肉重量、ばらの厚さが歴代1位、ロース芯面積、脂肪交雑が歴代2位とトップクラスの黒毛和種種雄牛。
- ◆R3年度 選抜

5 担い手

(1) 農業

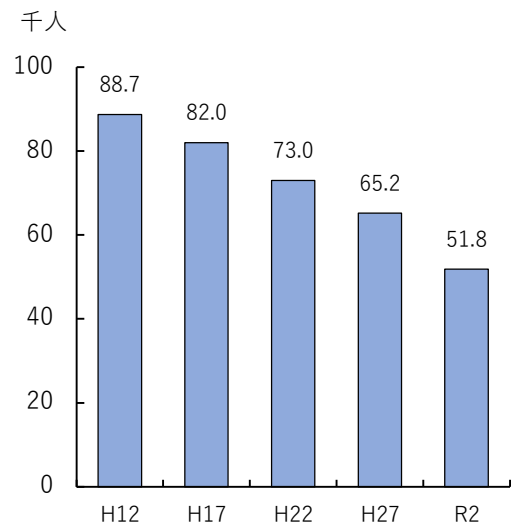
- 総農家数は全国的に減少しており、熊本県においても、令和2年（2020年）は平成27年（2015年）より10,535戸減少し、47,879戸となりました。
- 基幹的農業従事者（ふだん仕事として主に自営農業に従事している者）数は、後継者の減少や高齢化の進展によって減少傾向にあり、令和2年（2020年）には51,827人となっています。

【主副業別農家数の推移】



(資料) 農林水産省「農林業センサス」
「農業構造動態調査」

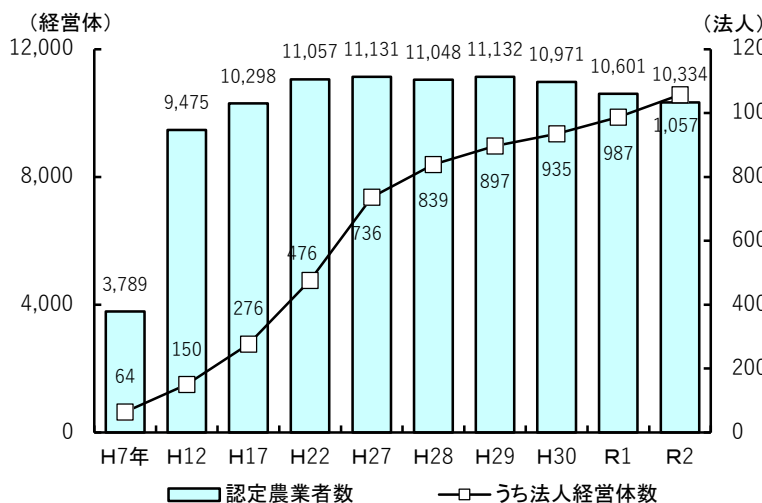
【基幹的農業従事者数の推移】



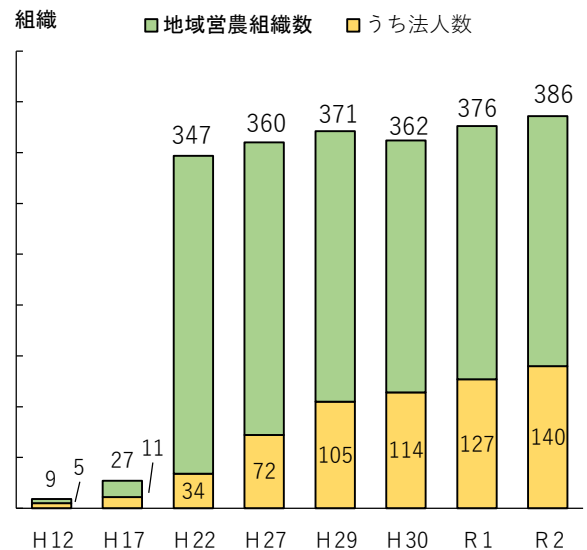
(資料) 農林水産省「農林業センサス」
「農業構造動態調査」

- 認定農業者数は、平成14年度（2012年度）に1万経営体を超え、その後は、横ばい状態が続いています。なお、令和2年度末（2020年度末）は10,334経営体で、全国第3位の認定数となっています。
- 地域営農組織は386組織と前年度よりやや増加しており、うち法人数も年々増加しています。

【認定農業者数の推移】



(資料) 農林水産省「認定農業者の認定状況」

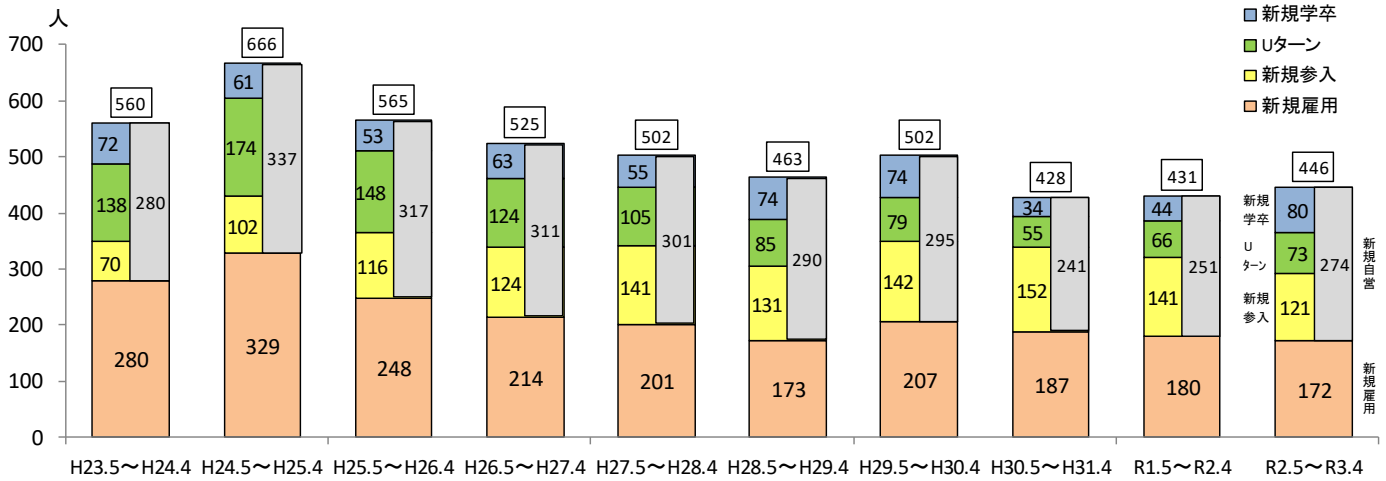


(資料) 県農林水産部調べ

○令和2年（2020年）5月から令和3年（2021年）4月までの間における新規就農者数は446人となり、前年より増加しました。

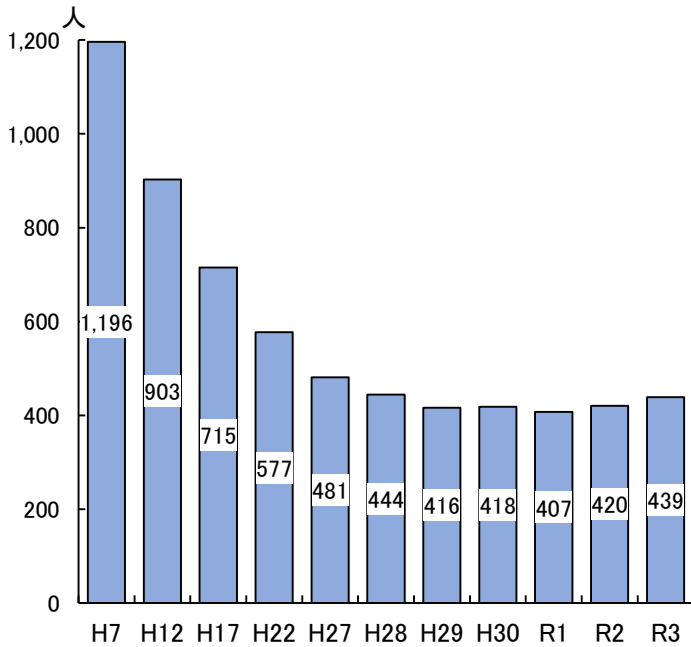
○令和3年度（2021年度）の青年農業者数は439人となり、前年より増加しました。

【新規就農者数の推移】



（資料）県農林水産部、県農業会議「青年農業者実態補完調査」

【青年農業者数の推移】



（資料）県農林水産部、
県農業会議「青年農業者実態補完調査」
（注）青年農業者とは、16歳から25歳までの者で、
年間150日以上農業に従事している者。

「くまもと農業経営継承支援センター」を設立

農業者の減少、高齢化が進行する中で、農業の持続的な発展のために、農業経営資産を安定的に継承し、多くの担い手を確保することが喫緊の課題となっています。

そこで経営移譲を希望する農業者と継承希望者のマッチングによる円滑な経営資産の継承を支援するため、令和3年6月15日に県内の関係団体で構成する「くまもと農業経営継承支援センター」を設立しました。

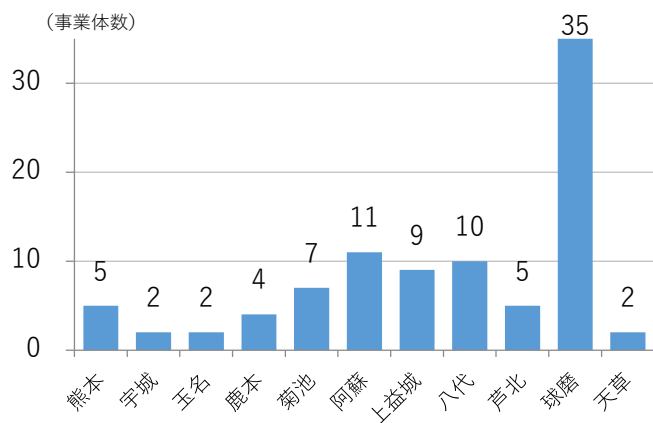


くまもと農業経営継承支援センター開所式

(2) 林業

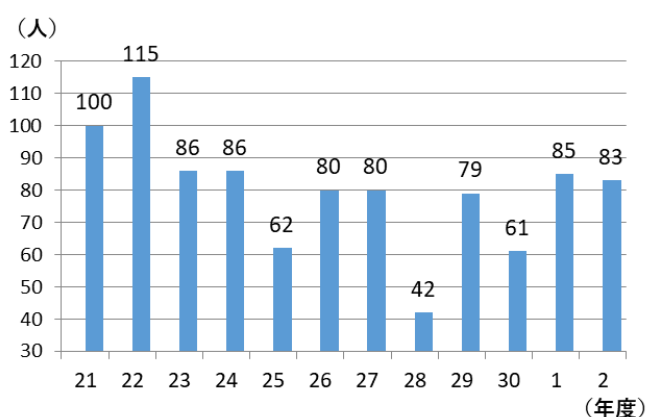
- 林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく認定事業体は、令和4年（2022年）3月31日現在で92（前年比+3）の事業体が県知事の認定を受けています。
- 令和2年度（2020年度）の認定事業体における新規就業者数は83人となっており、近年は60～80名で推移しています。なお、平成28年度（2016年度）の新規就業者42人は、熊本地震に伴う建設業等の復興特需等により林業への新規就業者が他産業へ流れたことが推定されます。
- 地域林業の中核的担い手である森林組合は、森林の公益的機能の維持・増進を図るため、森林整備事業及び販売・加工事業等に取り組んでいます。

【認定事業体】



(資料) 県林業振興課調べ

【新規就業者数の推移】



(資料) 県林業振興課調べ

【熊本県の森林組合の状況（R元年度）】

項目	単位	本県	1県当たりの全国平均
組合数	組合	15	13
組合員数	人	36,416	31,810
1組合当たりの組合員数	人	2,428	2,439
組合員所有森林面積	ha	287,705	224,733
組合雇用労働者数	人	559	294
事業総利益	百万円	2,118	1,231
木材取扱材積	m ³	433,752	180,146
新植面積	ha	744	363
保育面積	ha	6,170	3,485

(資料) 全国：農林水産統計「令和元年度森林組合一斉調査結果」
本県：県団体支援課調べ

林業大学校

林業大学校では、林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材の育成、そして意欲と能力のある林業経営者を養成することで、次世代をリードする林業担い手の確保・育成を図っています。

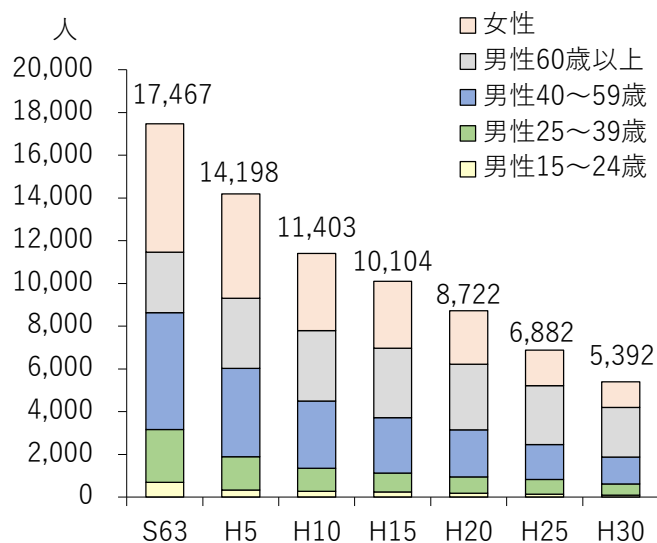


林業大学校の授業風景

(3) 水産業

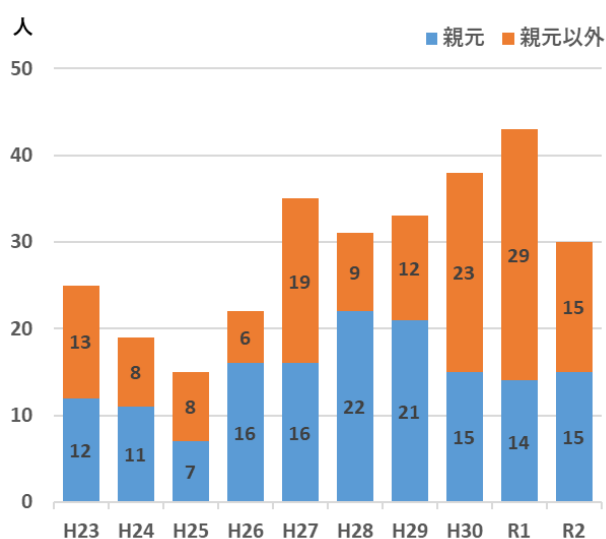
- 平成30年（2018年）の本県漁業就業者は、全国9位の5,392人で、平成5年（1993年）の38%にまで減少しています。
- 漁業就業者のうち、60歳以上の占める割合は57%と高齢化が進行しています。
- 漁業就業者に占める女性漁業者の割合は22%であり、全国平均の12%と比べると高くなっています。
- 令和2年度（2020年度）の新規漁業就業者数は、30名で減少しています。

【漁業就業者数の推移】



(資料) 農林水産省「漁業センサス」

【新規漁業就業者数の推移】



(資料) 県水産振興課調べ

漁業者の担い手育成

熊本県では、漁業体験・マッチング・就業定着支援・就業後の研修をワンストップで行うことで、新たに漁業に就業する方が、円滑に就業・定着できるように支援するほか、漁業者のさらなるスキルアップを図る研修体制の整備を行っています。

熊本県漁業就業支援協議会による漁業就業フェア等への出展や体験漁業などを開催し、就業される方と指導者・受入漁村とのマッチングを図ります。

水産研究センターでは就業前の研修を実施しており、就業に必要な技術習得を支援しています。

また、就業時には漁船や漁具等の購入や国の長期研修が活用できるようフォローアップを図っています。

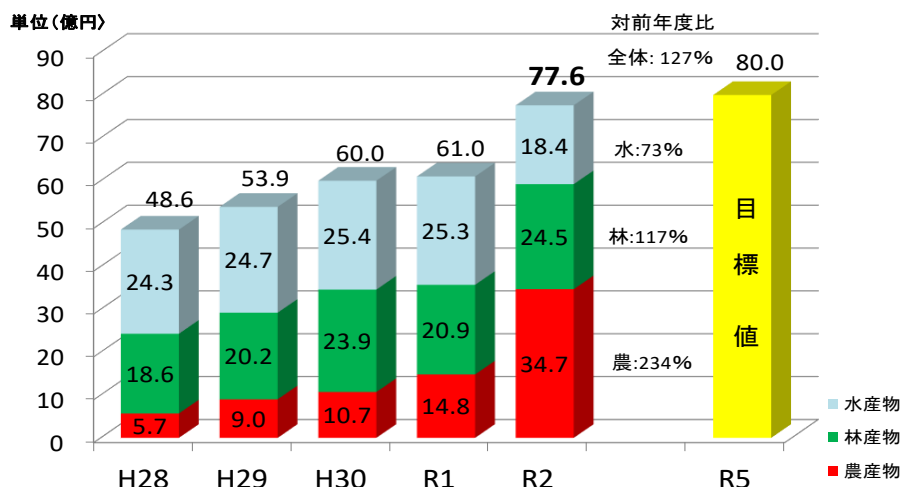


漁業就業者フェア（東京会場）

6 流通

○令和2年度（2020年度）の本県産農林水産物等の輸出額は、77.6億円（対前年度比127%）となり過去最高を更新しました。

【県産農林水産物等の輸出実績の推移】



(資料) 県観光戦略部調べ

<農畜産物>

巣ごもり需要を捉え、ほとんどの品目で輸出が大幅に増加しました。特に、牛肉、牛乳などの畜産物やメロン、いちごなどの果物類の実績が顕著に増加しました。

<林産物>

最大の貿易相手国である中国において、新型コロナウイルス感染拡大後の経済回復に伴う丸太輸出が増加し、更に、アメリカ向け製材品輸出が本格化し、輸出量、輸出額ともに過去最高となりました。

<水産物>

北米、アジア（韓国、中国、香港、台湾等）向けに、ブリ、マダイ、シマアジ等の養殖魚を中心に輸出し、アジア向けは前年度並みであったが、主要な輸出先である北米向けが、コロナ禍の影響で大幅に減少したことで、総輸出額は前年度比73%に減少しました。

熊本県産あさりの販売を再開しました！「熊本モデル」の開始

県では、消費者の皆様へ熊本生まれ・熊本育ちのあさりをお届けする「熊本モデル」により、令和4年4月中旬から純熊本県産あさりの販売を再開しました。

「熊本モデル」においては、QRコードやクラウド等のデジタル技術を活用したトレーサビリティシステムを導入し、生産地から小売店まで一貫した監視体制のもと、透明性の高い安心安全な純熊本県産あさりの流通体制を構築しています。



知事トップセールス



熊本県産あさりに貼付するくまモンシール

第3章 農林水産各計画の概要

熊本県食料・農業・農村基本計画～未来につながる魅力あふれる「くまもと農業」の実現～

時代の変化に対応した稼げる「くまもと農業」の確立

1 生産力・商品力・産地力の強化

- ① スマート農業の導入による省力化・生産性の向上
- ② スケールメリットを活かした大規模法人の新たな経営展開
- ③ 生産・集出荷施設の再編
- ④ 安全・安心で信頼・魅力のある商品づくり
- ⑤ 現場・消費ニーズに対応した新品種、新技術の開発・普及
- ⑥ 地域全体で取り組む畜産の収益性向上

2 担い手の確保・育成及び多様な人材の総結集

- ① 円滑な経営継承による担い手の確保
- ② 多様な就農形態に対応した新規就農者の確保・育成
- ③ 戦略的な農業経営に取り組む担い手の育成
- ④ 地域営農組織の育成
- ⑤ 企業など農業参入の促進
- ⑥ 外国人材等の確保・活躍
- ⑦ 農福連携による活躍の場の拡大

3 経営力を高める農業生産基盤の強化

- ① 担い手への農地集積の更なる加速化
- ② 生産性向上に向けた基盤・施設の整備
- ③ 農業団体の経営基盤・活動の充実強化

4 国土強靱化の推進とリスク対応力の強化

- ① 国土強靱化に向けた防災・減災対策の加速化
- ② 自然災害・価格低迷等に対応したリスク軽減対策の推進
- ③ 家畜伝染病侵入リスクを最小化する防疫体制の強化

5 県産農産物の販売力とサプライチェーンの強化

- ① 県産農産物の販売力強化
- ② 6次産業化等の推進
- ③ 地産地消、食文化の継承
- ④ 県産農産物の輸出推進



中山間地域等における魅力と活力あふれる持続可能な農村づくり

1 中山間地域の特色を活かした多様な収入の確保と担い手づくり

- ① 中山間地域における柱となる所得の確保対策と先進事例の波及
- ② 中山間地域を支える多彩な担い手の確保・育成

2 次世代に引き継ぐ生産環境の整備と

農業・農村の多面的機能の維持・発揮

- ① 中山間地域の実態に応じた基盤整備と農地集積の推進
- ② 地域活動を柱とした多面的機能の維持・発揮
- ③ 地下水と土を育む農業の推進

3 魅力ある地域資源を活用した中山間地域等の振興

- ① 地域資源を活かした農村の活性化とスーパー中山間地域の創生
- ② 交流や他分野との融合による地域活力の向上

4 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

- ① 地域ぐるみの総合的な鳥獣被害防止対策の推進
- ② 「くまもとジビエ」利活用の推進

熊本県森林・林業・木材産業基本計画～持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりに向けて～

1 森林資源の持続的な利用による稼げる

林業の実現

- ① 集約化による効率的な森林経営の確立
- ② スマート林業技術導入などによる林業生産性の向上
- ③ 循環利用のための再造林の着実な実施
- ④ 特用林産物の生産振興

2 林業を支える“山の人財”づくり

- ① 担い手の確保・育成



3 県産木材の利活用の最大化

- ① 建築分野における木材の需要拡大
- ② 木材輸出や木質バイオマスなどにおける需要拡大
- ③ 市場のニーズに応じた木材供給体制の整備
- ④ 県民総ぐるみによる木材利用に向けた理解の醸成

4 防災・減災や地球温暖化防止等に

寄与する多様で健全な森林づくり

- ① 多面的機能の発揮に向けた適正な森林管理の推進
- ② 県民の安全・安心のための森林づくりの推進
- ③ 森林病虫獣害対策等の推進
- ④ 県民参加の森林づくりの推進
- ⑤ 森林の多面的機能を支える研究・技術開発と普及の推進

熊本県水産基本計画～くまもとの豊かな海づくりと稼げる水産業の実現に向けて～

1 水産業を支える人づくり

- ① 漁村を担う人づくり
- ② 意欲ある漁業者の経営安定対策の強化
- ③ 漁業協同組合の経営基盤強化

2 水産資源の持続的利用と水産基盤づくり

- ① 資源管理型漁業と栽培漁業の推進
- ② 水面の総合利用と漁業秩序
- ③ 漁場環境の保全
- ④ 安全・安心な漁村づくり

3 養殖業の生産性向上

- ① 海面養殖業の振興
- ② 内水面養殖業の振興
- ③ 新技術開発

4 稼げる水産業の推進と販売体制の整備

- ① 県産水産物の販売力の強化
- ② 地産地消と魚食普及の推進
- ③ 浜の活力再生プランの加速化と支援



第4章 農林水産部組織図（令和4年4月1日現在）

農 林 水 産 部

政策審議監

農林水産政策課

- 総務班-----部・課の予算事務、農業公園
- 経理班-----部・課の経理事務
- 政策班-----農業、林業及び水産業施策の企画調整

団体支援課

- 農林団体指導班-----農業協同組合、森林組合、農業共済組合等の指導
- 水産団体指導班-----漁業協同組合、漁業共済組合等の指導
- 金融班-----農林水産業の制度金融
- 農協検査班-----農業協同組合の検査
- 漁協森組共済検査班-----漁業協同組合、森林組合及び農業共済組合の検査

流通アグリビジネス課

- 流通企画班-----農林水産物流通の企画・総合調整、販路拡大・宣伝、流通体系の整備、卸売市場の指導
- 地産地消班-----地産地消の推進
- 企業参入・6次化支援班-----企業参入の支援、6次産業化の支援

生産経営局

農業技術課

- 総務班-----農業技術課、農産園芸課及び農地・担い手支援課の予算・経理事務
- 普及振興企画班-----各農業普及・振興課の支援、農業普及事業の企画・調整、農業技術会議の運営、スマート農業の推進
- 植物防疫・農薬監視班-----農薬適正使用の推進、病虫害防除対策、農薬・肥料取締り
- みどりの農業推進班-----地下水と土を育む農業の推進、みどりの食料システム戦略の推進、環境保全型農業直接支払
- 経営調整班-----普及方法・土壌肥料・経営に関する技術支援、普及指導員の育成
- 地域農業支援班-----花き・茶・土地利用型作物・畜産・気象災害軽減に関する技術支援
- 産地づくり支援班-----果樹・野菜・病虫害及び産地づくりに関する技術支援

農業研究センター

病虫害防除所

- 管理部
- 企画調整部
- 農産園芸研究所
- 茶業研究所
- 高原農業研究所
- 生産環境研究所
- 畜産研究所
- 草地畜産研究所
- アグリシステム総合研究所
- 球磨農業研究所
- 果樹研究所
- 天草農業研究所

農産園芸課

- 生産企画班-----農産園芸振興に関する企画調整、強い農業づくり支援事業及び産地・パワーアップ事業の総括
- 農産振興班-----米、麦、大豆の生産振興対策及び新規需要米の振興対策
- 水田総合推進班-----土地利用型農業の振興、経営所得安定対策、米の需給調整及び適正取引推進
- 花き・い業・特産班-----花き、いぐさ及び茶・たばこ等特産農産物の振興対策
- 野菜班-----野菜の振興対策、次世代型園芸の推進
- 果樹班-----果樹の振興対策

畜産課

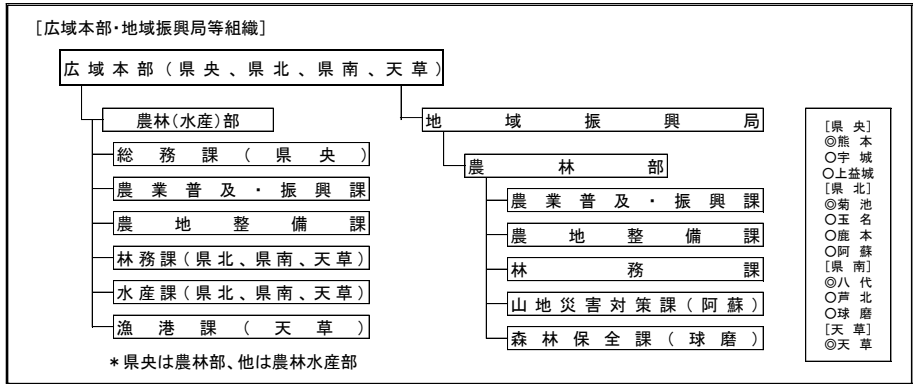
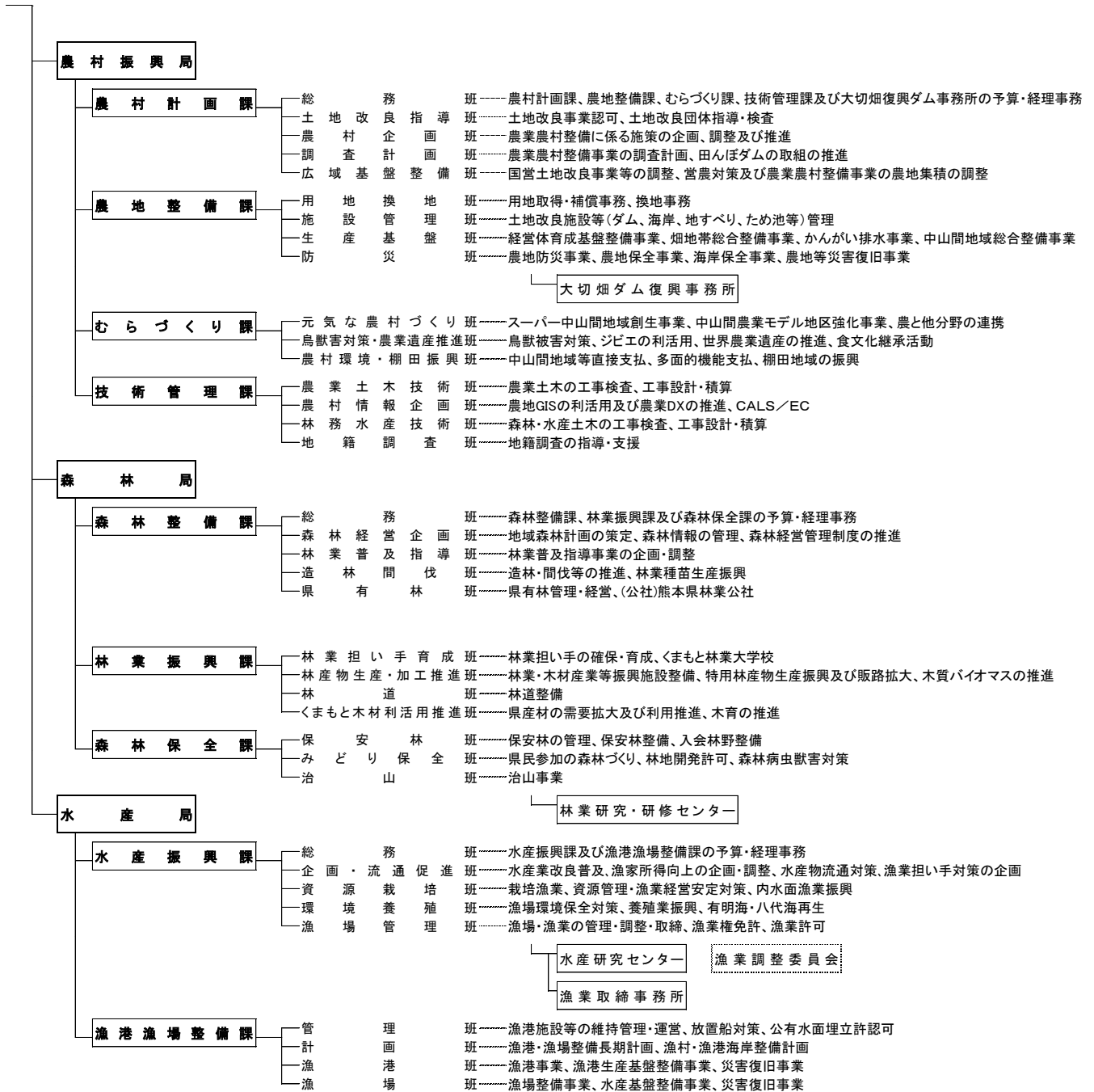
- 総務・企画班-----課の予算・経理事務、畜産振興に関する企画調整、畜産物の流通対策(食肉)
- 経営環境班-----畜産経営安定対策、畜産生産基盤強化対策、畜産環境対策、畜産物の流通対策
- 生産振興班-----肉用牛等の育種改良・生産指導
- 衛生防疫班-----家畜衛生防疫
- 草地飼料班-----自給飼料生産振興、放牧の推進

家畜保健衛生所（中央・城北・阿蘇・城南・天草）

農地・担い手支援課

- 農振班-----農業振興地域整備促進、他の土地利用との調整
- 農地班-----農地転用、自作農財産管理処分、農業会議・農業委員会
- 農地集積・利用推進班-----農地集積の推進、農地中間管理事業、耕作放棄地対策、(公財)熊本県農業公社
- 担い手支援班-----担い手育成対策の企画・調整、認定農業者・地域営農組織・女性農業者の育成
- 就農支援班-----新規就農者の確保・育成、農業大学校

農業大学校



関連サイト

流通アグリビジネス課
「くまもとのアグリ&フード」
<https://www.kumamoto-agribiz.jp>



農業技術課
「AGRIくまもと」
<https://agri-kumamoto.jp>



むらづくり課
「くまもとふるさと応援ネット」
<https://furusato.pref.kumamoto.jp>



林業振興課
「くまもと林業大学校」
<https://www.kumamoto-forestry.ac.jp>



水産振興課 公式サイト
IG: [suisanshinkou_kumamoto](#)
FB: 熊本県水産振興課

→
インスタグラム



→
フェイスブック



くまもとの農林水産業2022

令和4年（2022年）6月発行

－編集発行－

熊本県

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

農林水産部 農林水産政策課

TEL 096-333-2364 / FAX 096-383-3270

HP <https://www.pref.kumamoto.jp>



くまもとの赤

発行者：熊本県
所 属：農林水産政策課
発行年度：令和4年度（2022年度）